

令和 6 年度

入学者募集要項



全日制の課程 P. 1 ~ P. 10
定時制の課程 P. 11 ~ P. 18

山形県立米沢工業高等学校

〒992-0117 米沢市大字川井300番地
TEL(0238)28-7050(代)
FAX(0238)28-7051

全日制の課程

入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- 志望する動機及び目的意識が明確で、ものづくりや創意工夫することに興味・関心がある生徒を募集します。
- ものづくりなどを通して社会の課題解決に取り組み、地域との関わりを持って将来の産業を担いたい生徒を募集します。
- 体育・文化活動や生徒会活動に積極的に取り組んだ生徒を募集します。

I 推薦入学者選抜

1 志願資格及び出願要件

(1) 志願資格

次の各号に該当するものとする。

- ① 令和6年3月に県内の中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。
 - ア 当該類（学科）の学習に対する強い志望があり、目的意識が明確・適切であること。
 - イ 当該類（学科）に対する適性、興味及び関心を有すること。
 - ウ 下記の出願要件を満たしていること。
- ② 合格した場合は、入学が確約できる者。

(2) 出願要件

「1 キャリア形成に係る要件」と「2 成績評定概況に係る要件」の両方に該当する者

1 キャリア形成に係る要件

当該類（学科）を志望する動機及び目的意識が明確・適切であり、ものづくりや創意工夫することに強い興味・関心を持ち、将来の工業界を担うことが期待できる者

2 成績評定概況に係る要件

評定合計が「27以上」の者

2 募集類（学科）及び募集人員

機械生産類（機械科・生産デザイン科）	20名程度
電気情報類（電気情報科）	10名程度
建設環境類（建築科・環境工学科）	20名程度

合計50名程度

3 出願書類及び受付期間

書 類	受 付 期 間	備 考
1 推薦入学願書 2 自己推薦書 3 調査書	令和6年1月19日(金) から1月25日(木)12時 まで	① 在籍中学校長を経由して、本校校長に、推薦入学者選抜志願者名簿を添えて提出する。 ② 郵送の場合でも締切日時までに必着とする。 （郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手434円分〔郵送料84円及び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封する。） ③ 本校校長が認めた場合には、自己申告書を提出することができる。 ④ 土曜日、日曜日の受付は行わない。

4 出 願 手 続

- (1) 本校への志願は1類のみとする。なお、出願要件に合致していない場合は出願できない。
- (2) 中高一貫教育における連携型入学者選抜との併願はできない。
- (3) 志願者は、推薦入学願書に必要事項を自ら記入し、必ず在籍中学校長を経由して本校校長に提出すること。
- (4) 「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200円の山形県収入証紙を推薦入学願書に貼る。ただし、消印はしないこと。
- (5) 中学校長は、必要がある場合は令和6年1月17日(水)17時までに本校校長に、健康及び身体状況について相談を行うことが望ましい。なお、聴覚障がいにより補聴器を必要とする場合も相談することが望ましい。
- (6) 中学校長は、「推薦入学者選抜志願者名簿」を添えて、「評定概況」1部とともに必要書類を提出すること。

5 推薦入学願書作成上の注意

- (1) 志願する「類」の志望欄1つに、○印を記入すること。
- (2) 現住所は、正確に記載すること。
- (3) 本人の現住所と異なる場所で「合格通知書」等の受領を希望する者は、入学願書の備考欄に、その場所の郵便番号・宛先を記載すること。

6 自己推薦書作成上の注意

自己推薦書の裏面に記載されている「自己推薦書記入上の注意」を熟読して記入すること。

7 作 文

- (1) 目 的 当該類(学科)を志望する理由及び目的意識を確認する。
- (2) 日 時 令和6年2月2日(金)
生徒昇降口開場 8時00分
受 付 8時20分～ 8時40分まで
作 文 9時00分～ 9時40分まで
- (3) 場 所 本校指定教室
- (4) 出題内容
① 題 目 志望の理由及び目的意識を確認する内容の作文題とする。
② 字 数 400字～500字
- (5) 受検者の携帯品
受検票、鉛筆(シャープペンシルを含む)^{※1}、消しゴム、内履き、昼食(必要に応じて)
^{※1} 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
持ち込みを認めるもの:鉛筆削り、鉛筆キャップ(単色透明で無地のもの)、腕時計^{※2}、ティッシュペーパー(中身のみ)
^{※2} 計算機能や英単語表示機能、通信機能等付きのもの、音の鳴るもの、秒針音のするものは持ち込みを認めない。

8 面 接

- (1) 日 時 令和6年2月2日(金) 作文終了後、10時00分から行う。
- (2) 場 所 本校指定教室
- (3) 方 法 ① 形 態 個人面接
② 時 間 15分程度
③ 面接者 3名程度の本校教員が当たる。

9 選 抜

選抜は、調査書、面接及び作文の結果を総合して行う。なお、自己推薦書及び自己申告書等に関する書類を、面接で志望動機等を確認する際の資料とする。

選抜規準は、調査書「学習の記録」をA、調査書「学習の記録」以外をB、面接をC、作文をDと

し、評価の比率はA : B : C : Dを25 : 25 : 30 : 20とする。

また、面接と作文の評価の観点及び評価の段階は以下の通りとする。

面接の評価の観点	① 目的意識、② 積極性、③ 興味関心、④ 表現力、⑤ 活動状況
面接の評価の段階	A、B、C、D、Eの5段階
作文の評価の観点	① 論理的思考力、② 発想力、③ 文章構成力
作文の評価の段階	A、B、C、Dの4段階

10 選抜結果の通知及び合格発表

- (1) 推薦入学者選抜の選抜内定結果については、中学校長あて、令和6年2月9日(金)必着で「推薦入学者選抜結果通知書」を送付する。合格内定者には中学校長を通じ「合格内定通知書」を送付する。
- (2) 合格者の発表は、令和6年3月17日(日)15時にWebへの公開と、本校生徒昇降口において、受検番号により行う。Webアクセスの方法については、受付時に受検票とともに配布する。郵送の場合は、受検票とともに送付する。なお、電話による可否の問い合わせには応じない。
- (3) 合格者には、入学願書に記載された本人の現住所等に「合格通知書」及び関係書類を送付する。

11 その他

合格者に対しては、新入生オリエンテーションを実施する。入学予定者は必ず出席するものとする。なお、期日等については7頁のⅢを参照のこと。

Ⅱ 一般入学者選抜

1 志 願 資 格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 令和6年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を修了(以下「卒業」という。)する見込みの者で令和6年度推薦入学者選抜及び中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第95条の各号のいずれかに該当する者。

2 募集類(学科)及び募集人員(推薦入学者選抜の合格内定者を含む)

機械生産類(機械科・生産デザイン科)	80名
電気情報類(電気情報科)	40名
建設環境類(建築科・環境工学科)	80名

合計200名

3 出願書類及び受付期間

書 類	受 付 期 間	備 考
1 一般入学願書 2 調査書	令和6年2月16日(金) から2月22日(木)12時 まで	① 在籍中学校長を経由して、本校校長に、一般入学者選抜志願者名簿を添えて提出する。 ② 郵送の場合でも締切日時までに必着とする。 (郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手434円分[郵送料84円及び簡易書留料金350円分]を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あて返信用定形長3号封筒を同封する。) ③ 本校校長が認めた場合には、自己申告書を提出することができる。 ④ 土曜日、日曜日の受付は行わない。

4 出願手続

- (1) 本校への志願は、「類」を単位として第2志望まで認める。全日制・定時制の両課程に志願することはできない。
- (2) 志願者は、一般入学願書に必要な事項を自ら記入し、必ず在籍又は出身中学校長を経由して本校校長に提出すること。
- (3) 「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200円の山形県収入証紙を一般入学願書に貼る。ただし、消印はしないこと。
- (4) 推薦入学者選抜に漏れた者で、本校全日制の一般入学者選抜を志願する者は、新たに一般入学願書（県収入証紙は不要）を提出する。この際、先に交付された受検票を、中学校長を経由して本校校長に提出し、新たに受検票の交付を受けること。他の高等学校及び異なる課程へ志願変更を希望する者は、令和6年度「山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」の志願変更の手続によること。
- (5) 高等学校に在籍のまま志願する者は、一般入学願書に在籍高等学校長の志願承諾書を添付すること。
- (6) 県外から志願する者は、その都道府県内の公立高等学校に志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和6年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願1部を本県教育委員会教育長に提出し、県教育委員会が送付する学区外高等学校志願許可書を一般入学願書に添付すること。学区外高等学校志願許可願の郵送の際は、返信用封筒（返信用切手貼付、宛先を明記）を同封し、高校教育課長に送付すること。
- (7) 次の場合、中学校長は令和6年1月31日（水）17時までに本校校長に相談を行うことが望ましい。ただし、帰国子女や外国人子女等、事情がある場合は、本人及び保護者が相談してもよい。進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には志願者等が作成した自己申告書を提出することができる。
 - ① 健康及び身体の状況、希望類（学科）、進路希望等について必要がある場合
 - ② 聴覚障がいにより学力検査時に補聴器を必要とする場合
 - ③ 特別支援学校及び特別支援学級から志願する場合、健康及び身体の状況、希望類（学科）、進路希望、入学者選抜に当たって配慮を望むこと等について
- (8) 中学校長は、「一般入学者選抜志願者名簿」を添えて、必要書類を「評定概況」1部とともに提出すること。なお、「評定概況」を推薦入学者選抜の志願にかかわってすでに提出している場合、または県外からの志願者及び特別支援学校、令和4年度以前の卒業生からの志願者については、提出を要しない。また、「評定概況」は、全日制・定時制併せて1部でよい。
- (9) 出願の取消しや締切り前の志願変更は、必ず公文書を添えて行うこと。締切り前の志願変更は、止むを得ない十分な理由がある場合にのみ行われること。
- (10) 国立諸学校に合格した志願者の在籍又は出身中学校長は、令和6年3月4日（月）12時までに、国立諸学校への入学の諾否を本校校長に、文書によって報告するものとする。その際、合格した国立諸学校に入学する者については、本校の受検票を添付すること。

5 一般入学願書作成上の注意

- (1) 記入する際は、志望欄に第1志望は1、第2志望は2、と数字で記入する。また、志望しない類（学科）の志望欄に右上がりの斜線を引くこと。第2志望がない場合も同様とすること。
- (2) 現住所は、正確に記載すること。
- (3) 本人の現住所と異なる場所で「合格通知書」等の受領を希望する者は、入学願書の備考欄に、その場所の郵便番号・宛先を記載すること。

6 学力検査

- (1) 日 時 令和6年3月7日（木）
生徒昇降口開場7時30分、控室入室完了8時5分、受付8時10分～8時20分
- (2) 場 所 本校指定教室
控室及び検査会場等の配置については事前に中学校長に連絡し、当日も案内表示する。
- (3) 検査教科及び検査時間

時 間	8:50～9:40	10:00～10:50	11:10～12:00	12:50～13:40	14:00～14:50
教 科	国 語	数 学	社 会	理 科	外国語（英語） （14:00 から約10分間は リスニングテスト）

※検査教科の配点は各100点とする。

(4) 受検者の携帯品等

受検者は、受検票、内履き、昼食及び学力検査に必要な下記の筆記用具を持参すること。

鉛筆（シャープペンシルを含む）※₁、消しゴム、定規（三角・直定規のいずれでもよい）、コンパス、鉛筆削り

学力検査会場には、受検票のほか上記の筆記用具を携帯する。なお、鉛筆キャップ（単色透明で無地のもの）、腕時計※₂、ティッシュペーパー（中身のみ）の持込みは認める。

連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。

※₁ 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。

※₂ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等付きのもの、音の鳴るもの、秒針音のするものは持込みを認めない。

ただし、次の用具は学力検査会場に携帯してはならない。

- ① 下敷、筆入れ、シャープペンシル芯入れケース等
- ② 公式や法則等の書いてある定規・鉛筆等（シャープペンシルを含む）
- ③ 分度器又は分度器のついた定規
- ④ 電卓等の計算用具
- ⑤ 携帯電話・スマートフォン・情報端末等の電子機器類
- ⑥ その他、検査の公正を欠くおそれのある物

なお、聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

7 面 接

- (1) 目 的 受検者の多様な能力・適性や関心・意欲、努力の成果や活動経験など、様々な観点から受検者の優れた面や長所を選抜の資料とするため実施する。
- (2) 日 時 令和6年3月7日（木）学力検査終了後に行う。
- (3) 場 所 本校指定教室
- (4) 方 法
 - ① 形 態 グループ面接
 - ② 人 員 1グループ5名程度
 - ③ 時 間 1グループ15分程度
 - ④ 面接者 1グループにつき3名程度の本校教員が当たる。
 - ⑤ その他 面接の順番は遠方からの受検者等に配慮して決定する。
- (5) 質問事項 主として次の事項について質問する。
 - ① 本校及び当該類（学科）への志望の動機・理由について
 - ② 進路に関する本人の意向について
 - ③ 特別活動等の状況について
 - ④ 自分の性格について（長所など）
 - ⑤ 出欠席の状況について
 - ⑥ 本校入学後の抱負について

8 選 抜

- (1) 選抜は、調査書及び学力検査の成績を総合し、本校、各類（学科）の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。
- (2) 調査書中の各教科の評定と学力検査の成績の比率は4：6とする。
- (3) 傾斜配点は、行わない。
- (4) 在籍又は出身中学校長から、国立諸学校に合格し入学する旨報告のあった志願者については選抜から除外する。

9 合格発表及び合格通知書の送付

- (1) 合格者の発表は、令和6年3月17日（日）15時にWebへの公開と、本校生徒昇降口において、受検番号により行う。Webアクセスの方法については、受付時に受検票とともに配布する。郵送の場合、受検票とともに送付する。なお、電話による合否の問い合わせには応じない。
- (2) 合格者には、入学願書に記載された本人の現住所等に「合格通知書」及び関係書類を送付する。

10 個人情報の提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、合格発表後郵送により行う。

個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒（簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上親展扱いとし、返信用切手434円分〔郵送料84円及び簡易書留料金350円〕を貼ったもの）を提出すること。（裏表紙内側の記入例参考）

11 追 検 査

(1) 対象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査、面接（以降、本検査という）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

①インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。

②真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受検の手続

① 追検査の受検を希望する者は、次のア～イの連絡等を行う。

ア 本検査を受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。

イ 上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日までに在籍又は出身中学校長に提出する。

② 追検査の受検を希望する者の在籍又は出身中学校長は、次のア～エの連絡・報告を行う。

ア 3月6日（水）までに、追検査の対象者が確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、3月6日（水）15時までに志願先高等学校長へ電話連絡する。

イ ②のア以降、3月7日（木）本検査当日の集合時刻までに、本検査を受検できない志願者が新たに確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、当日できるだけ速やかに志願先高等学校長へ電話連絡する。

ウ ②のア、イに該当する生徒がいる場合、3月8日（金）15時までに、次の（ア）、（イ）の書類を志願先高等学校長あて提出する。なお、やむを得ない事情により期限まで提出できない場合は、提出期限まで志願先高等学校長に電話等で連絡した上で、速やかに提出する。

（ア） 追検査受検願

（イ） 医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類

エ 対象者に対して受検にあたり、新たに特別な配慮が必要になった場合は、速やかにその旨を志願先高等学校長に連絡する。

(3) 追検査の内容及び日時等

① 学力検査等及び面接について

内容は上記「6 学力検査」「7 面接」に準ずる。

② 日 時

令和6年3月12日（火）学力検査（時間は本検査に同じ）・面接

③ 検査会場

本校指定教室

（「6 学力検査」と同様に指定された入口から入校し、職員の誘導により会場まで移動する。）

(4) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

12 そ の 他

(1) 受検会場の下見は実施しない。

(2) 東南置賜地区の県立高校再編整備計画により、令和7年度に米沢工業高校と米沢商業高校を統合して米沢鶴城高校を開校し、令和6年度入学生については、令和7年度に米沢鶴城高校に転学することになります。

Ⅲ 新入生オリエンテーション

- (1) 日 時 令和6年3月26日(火) 8時30分～12時(予定)
- (2) 場 所 本校体育館等
- (3) そ の 他 「合格通知書」とともに郵送する関係書類により、日時や持ち物等詳細を連絡する。

資料Ⅰ 入学時及び入学後の所要経費

以下の金額は令和5年度入学生の実績です。(消費税込みの金額)

1 入学時の所要経費(類によって異なるが、おおよそ次のとおり)

- (1) 制服(夏・冬服) 男子:57,904円～ 女子:75,823円～
※他に希望者のみ(男女とも)カーディガン5,236円
- (2) 教育振興会入会金等 10,000円
- (3) 学年共通学用品等 32,270円
- (4) 類別学用品・実習着等 M類:31,123円 E類:33,229円 C類:28,381円
- (5) 教科書・準教科書・副読本 M類:31,605円 E類:27,347円 C類:23,471円
※芸術(音楽Ⅰ・美術Ⅰ)については、選択科目決定後に別に購入していただきます。
※C類はコース別学習が始まる1年次2学期に、コース毎別に教科書を購入していただきます。
- (6) 体育用品等 23,222円
※他にスキー用具(レンタル可能)を1年次2学期以降に準備していただきます。

M類:機械生産類 E類:電気情報類 C類:建設環境類 の略称です。

2 入学後の所要経費(5月から11月までの7ヵ月分納、月額平均約13,050円)

- (1) 修学旅行積立金(1年次) 60,000円
- (2) 諸会費等 31,170円

3 授業料(年額118,800円)

※就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。

資料Ⅱ
令和6年度入学者

山形県立米沢工業高等学校（全日制の課程）教育課程表

機械生産類（機械科・生産デザイン科）

機械加工コース・生産システムコース・生産デザインコース																
教科	科目	標準 単位数		学年別単位数									備考			
				1年			2年			3年				合計		
				加工	生システム	生デザイン	加工	生システム	生デザイン	加工	生システム	生デザイン		加工	生システム	生デザイン
国語	現代の国語	2	◎	2						2			選択科目(3年次) <input type="radio"/> 共通科目選択者 (※はいずれか選択) <input type="triangle-up"/> 専門科目選択者			
	言語文化	2	◎				2			2						
地理 歴史	論理国語	4					2			2						
	地理総合	2	◎	2						2						
歴史	歴史総合	2	◎				2			2						
	公民	2	◎	2						2						
数学	数学Ⅰ	3	◎	3						3						
	数学Ⅱ	4					3			3						
	数学A	2					2			2						
	数学B	2					○2			0.2						
理科	科学と人間生活	2	◎				2			2						
	物理基礎	2					3			3						
	化学基礎	2	◎	2						2						
	発展化学		●				○2※			0.2						
保健 体育	発展物理		●				○2※			0.2						
	体育	7~8	◎	2			2			3						
芸術	保健	2	◎	1			1			2						
	音楽Ⅰ	2	○	2						0.2						
外国語	美術Ⅰ	2	○	2						0.2						
	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3						3						
	英語コミュニケーションⅡ	4					3			5						
家庭 情報	論理・表現Ⅰ	2					○2			0.2						
	家庭基礎	2	◎	2						2						
情報	情報Ⅰ	2	◎	(2)						(2)						
	共通教科・科目単位数合計				19			16			13~19			48~54		
工業	工業技術基礎	2~4		3						3 3 3			選択科目(1・2・3年次) <input type="checkbox"/> 選択希望者 (キャリア計画により選択)			
	課題研究	2~4	◎				3 3 3			3 3 3						
	実習	4~12					4 4 4			5 5 5						
	製図	2~8		2			2 2 2			△2 △2 △2						
	工業情報数理	2~4	◎	2						2 2 2						
	生産技術	2~6					2 2			2 2 0						
	工業管理技術	2~8					2 2 2			2 2 2						
	機械工作	4~8					2 2 2			△2 △2 2.4						
	機械設計	4~8		2			2 2 2			△2 △2 4						
	原動機	2~4					△2			0.2 0 0						
電子機械	電子機械	4~8					△2			0 0.2 0						
	デザイン実践	2~4					2			△2 0 0						
技能と教養			●	□1			□1 □1 □1			□1 □1 □1						
専門教科・科目単位数合計				9~10			12~13 12~13 12~13			10~17 10~17 10~17			31~40 31~40 31~40			
総合的な探究の時間 キャリア探究(1・2年次)		3~6	◎	1			1			(3)			2(3)			
合計		最大		30			30			30			90			
		最小		29			29			29			87			
卒業までに修得すべき単位数				74												
特別活動	ホームルーム活動			1			1			1			3			
	生徒会活動(時間)			35			35			35			105			
		学校行事(時間)			65			90			55			210		
授業の1単位時間				50分												

令和6年度入学者

山形県立米沢工業高等学校（全日制の課程）教育課程表

電気情報類（電気情報科）

電気コース・情報技術コース												
教科	科目	標準 単位数		学年別単位数								備考
				1年		2年		3年		合計		
				電気	情報	電気	情報	電気	情報	電気	情報	
国語	現代の国語	2	◎	2						2		選択科目(3年次) ○ 共通科目選択者 (※はいずれか選択) △ 専門科目選択者
	言語文化	2	◎			2				2		
	論理国語	4						2		2		
地理 歴史	地理総合	2	◎	2						2		
	歴史総合	2	◎					2		2		
公民	公民	2	◎			2				2		
数学	数学Ⅰ	3	◎	3						3		
	数学Ⅱ	4				3				3		
	数学A	2						2		2		
	数学B	2						○2		0,2		
理科	科学と人間生活	2	◎					2		2		
	物理基礎	2				3				3		
	化学基礎	2	◎	2						2		
	発展化学		●					○2※		0,2		
保健 体育	体育	7~8	◎	2		2		3		7		
	保健	2	◎	1		1				2		
芸術	音楽Ⅰ	2	○	2						0,2		
	美術Ⅰ	2	○	2						0,2		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3						3		
	英語コミュニケーションⅡ	4				3		2		5		
	論理・表現Ⅰ	2						○2		0,2		
家庭 情報	家庭基礎	2	◎	2						2		
	情報Ⅰ	2	◎	(2)						(2)		
共通教科・科目単位数合計				19	16	13~19	48~54					
工業	工業技術基礎	2~4		3						3 3		
	課題研究	2~4	◎					3 3		3 3		
	実習	4~12				4 4		3 3		7 7		
	製図	2~8		1		1 1				2 2		
	工業情報数理	2~4	◎	2						2 2		
	工業管理技術	2~8						△2 △2		0,2 0,2		
	電気回路	4~6		3		3 3				6 6		
	電気機器	4~6						2		2 0		
	電力技術	4~6				2		2		4 0		
	電子回路	4~6						△2 △2		0,2 0,2		
	電子計測制御	4~6						△2 △2		0,2 0,2		
プログラミング技術	2~8				2		2		0 4			
ハードウェア技術	2~8				2		2		2 2			
コンピュータシステム技術 技能と教養	2~8		●	□1	□1	□1	□1	□1	□1	0,1,2,3	0,1,2,3	
専門教科・科目単位数合計				9~10	12~13	12~13	10~17	10~17	31~40	31~40	学校設定科目	
総合的な探究の時間 キャリア探究(1・2年次)		3~6	◎	1		1		(3)		2(3)		
合計		最大		30		30		30		90		
		最小		29		29		29		87		
卒業までに修得すべき単位数				74								
特別活動	ホームルーム活動			1		1		1		3		
	生徒会活動(時間)			35		35		35		105		
				生徒会対面式、応援練習、生徒総会(前期・後期)、生徒会立会演説会・選挙、生徒会全校集会、文化祭等								
	学校行事(時間)			65		90		55		210		
			新任式、入学式、始業式(1・2・3学期)、終業式(1・2学期)、修了式、創立記念式、修学旅行等									
授業の1単位時間				50分								

令和6年度入学者

山形県立米沢工業高等学校（全日制の課程）教育課程表

建設環境類（建築科・環境工学科）

建設コース・土木コース・環境化学コース																											
教科	科目	標準 単位数	学年別単位数												備考												
			1年			2年			3年			合計															
(必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)			建築	土木	環境	建築	土木	環境	建築	土木	環境	建築	土木	環境													
国語	現代の国語	2	◎	2						2			選択科目(3年次) ○ 共通科目選択者 (※はいずれか選択) △ 専門科目選択者														
	言語文化	2	◎				2			2																	
	論理国語	4								2																	
地理 歴史	地理総合	2	◎	2						2																	
	歴史総合	2	◎							2																	
公民	公共	2	◎				2			2																	
数学	数学Ⅰ	3	◎	3						3																	
	数学Ⅱ	4					3			3																	
	数学A	2								2																	
	数学B	2								○2																	
理科	科学と人間生活	2	◎							2																	
	物理基礎	2					3			3																	
	化学基礎	2	◎	2						2																	
	発展化学		●							○2※																	
保健 体育	体育	7~8	◎	2			2			3																	
	保健	2	◎	1			1			2																	
芸術	音楽Ⅰ	2	○	2						0.2																	
	美術Ⅰ	2	○	2						0.2																	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3						3																	
	英語コミュニケーションⅡ	4					3			2																	
	論理・表現Ⅰ	2								○2																	
家庭	家庭基礎	2	◎	2						2																	
情報	情報Ⅰ	2	◎	(2)						(2)																	
共通教科・科目単位数合計				19			16			13~19			48~54														
工業	工業技術基礎	2~4		3	3	3						3	3	3	選択科目(1・2・3年次) □ 選択希望者 (キャリア計画により選択)												
	課題研究	2~4	◎						3	3	3	3	3	3													
	実習	4~12					4	4	4	2	2	2	6	6		6											
	製図	2~8		2	2	1	2			2	△2		6	2・4		1											
	工業情報数理	2~4	◎	2	2	2						2	2	2													
	工業環境技術	2~4									△2			0.2													
	建築構造	2~6		2			2					4															
	建築計画	3~8					2			△2		2・4															
	建築構造設計	3~8					2			1・△2		3・5															
	建築施工	2~6								2		2															
	建築法規	2~4								△2		0.2															
	測量	3~6			1		2						3														
	土木基盤力学	2~6								△2		0.2															
	土木構造設計	2~8			1		2			2		5															
	土木施工	3~6					2			3		5															
	社会基盤工学	2~4					2			△2		2・4															
	工業化学	6~8				2		4			2		8														
化学工学	3~6						2			3		5															
地球環境化学	2~6				1			2		△2		3・5															
環境化学計測		●								△2		0.2															
技能と教養		●	□1	□1	□1	□1	□1	□1	□1	□1	□1	0.1,2,3	0.1,2,3	0.1,2,3													
専門教科・科目単位数合計				9~10			12~13			12~13			10~17			10~17			31~40			31~40			31~40		
総合的な探究の時間 キャリア探究(1・2年次)		3~6	◎	1			1			(3)			2(3)			課題研究で3単位代替											
合計		最大		30			30			30			90														
		最小		29			29			29			87														
卒業までに修得すべき単位数				74																							
特別活動	ホームルーム活動			1			1			1			3			毎週水曜日1校時											
	生徒会活動(時間)			35			35			35			105			生徒会対面式、応援練習、生徒総会(前期・後期)、生徒会立会演説会・選挙、生徒会全校集会、文化祭等											
	学校行事(時間)			65			90			55			210			新任式、入学式、始業式(1・2・3学期)、終業式(1・2学期)、修了式、創立記念式、修学旅行等											
授業の1単位時間				50分																							

定時制の課程(単位制)

I 一般入学者選抜

1 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- (1) 学校生活を大切にし、何事にも前向きに取り組む生徒を募集します。
- (2) 基礎・基本を大切にし、他者との関わり合いを通して、学びの質を高めようと努力できる生徒を募集します。
- (3) 自己実現への意欲があり、将来の目標に向かって努力できる生徒を募集します。

2 志 願 資 格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 令和6年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で、令和6年度推薦入学者選抜及び中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

3 募集学科、募集人員及び修業年限等

- (1) 総合学科 40名（成人志願者の合格者を含む。）
- (2) 修業年限は4年を基準とする。
- (3) 授業は令和6年度から令和7年度は夜間（17時から20時55分）、令和8年度以降は昼間（全日制1時間目から4時間目の時間帯）に行う。

4 出願書類及び受付期間

書 類	受 付 期 間	備 考
1 一般入学願書 2 調査書	令和6年2月16日（金）から 2月22日（木）12時まで	① 在籍中学校長を経由して、本校校長に、一般入学者選抜志願者名簿を添えて提出する。 ② 郵送の場合でも締切日時までに必着とする（郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手434円分〔郵送料84円及び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あて返信用定形長3号封筒を同封する）。 ③ 本校校長が認めた場合には、自己申告書を提出することができる。 ④ 土曜日、日曜日の受付は行わない。

5 出 願 手 続

- (1) 公立高等学校への志願は1人1校とし、全日制・定時制の両課程に志願することはできない。
- (2) 志願者は、一般入学願書に必要な事項を自ら記入し、必ず在籍又は出身中学校長を経由して本校校長に提出すること。
- (3) 「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、950円の山形県収入証紙を一般入学願書に貼る。ただし、消印はしないこと。

- (4) 中学校長は、「一般入学者選抜志願者名簿」及び「評定概況」を1部提出すること。ただし、「評定概況」は、県外からの志願者及び特別支援学校、令和4年度以前の卒業者からの志願者については、提出を要しない。また、「評定概況」は全日制・定時制併せて1部でよい。
- (5) 出願の取消しや締切り前の志願変更は、必ず公文書を添えて行うこと。締切り前の志願変更は、止むを得ない十分な理由がある場合にのみ行うこと。
- (6) 中学校長は、必要がある場合は令和6年1月31日（水）17時までに本校校長に、健康及び身体の状態、進路希望等について相談（以下「進路等相談」という。）を行うことが望ましい。また、特別支援学校及び特別支援学級から志願する場合は、当該校長は健康及び身体の状態、進路希望、入学者選抜に当たって配慮を望むこと等について進路等相談を行うことが望ましい。なお、帰国子女や外国人子女等、事情がある場合は、進路等相談を本人及び保護者が行うことも可能である。進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には志願者等が作成した自己申告書を提出することができる。
- (7) 高等学校に在籍のまま志願する者は、在籍高等学校長の志願承諾書を添付すること。

6 入学願書作成上の注意

- (1) 現住所は、正確に記載すること。
- (2) 本人の現住所と異なる場所で「合格通知書」等の受領を希望する者は、入学願書の備考欄に、その場所の郵便番号・住所を記載すること。

7 学 力 検 査

- (1) 日 時 令和6年3月7日（木）
生徒昇降口開場7時30分、控室入室完了8時5分、受付8時10分～8時20分
- (2) 場 所 本校指定教室
控室及び検査会場等の配置については事前に中学校長に連絡し、当日も案内表示する。
- (3) 検査教科及び検査時間

時 間	8:50～9:40	10:00～10:50	11:10～12:00	12:50～13:40	14:00～14:50
教 科	国 語	数 学	社 会	理 科	外国語（英語） （14:00 から約 10 分間は リスニングテスト）

※検査教科の配点は各 100 点とする。

- (4) 受検者の携帯品等
受検者は、受検票、内履き、昼食及び学力検査に必要な下記の筆記用具を持参すること。
鉛筆（シャープペンシルを含む）※1、消しゴム、定規（三角・直定規のいずれでもよい）、コンパス、鉛筆削り
学力検査会場には、受検票のほか上記の筆記用具を携帯する。なお、鉛筆キャップ（単色透明で無地のもの）、腕時計※2、ティッシュペーパー（中身のみ）の持込みは認める。
連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。
※1 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
※2 計算機能や英単語表示機能、通信機能等付きのもの、音の鳴るもの、秒針音のするものは持込みを認めない。

ただし、次の用具は学力検査会場に携帯してはならない。

- ① 下敷、筆入れ、シャープペンシル芯入れケース等
- ② 公式や法則等の書いてある定規・鉛筆等（シャープペンシルを含む）
- ③ 分度器又は分度器のついた定規
- ④ 電卓等の計算用具
- ⑤ 携帯電話・スマートフォン・情報端末等の電子機器類
- ⑥ その他、検査の公正を欠くおそれのある物

なお、聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

8 面 接

- (1) 目 的 受検者の多様な能力・適性や関心・意欲、努力の成果や活動経験など、様々な観点から受検者の優れた面や長所を選抜の資料とするため実施する。
- (2) 日 時 令和6年3月7日（木）学力検査終了後、15時15分から行う。
- (3) 場 所 本校指定教室
- (4) 方 法 ① 形 態 個人面接
② 時 間 1人10分程度
③ 面接者 2～3名の本校教員が当たる。
④ その他 面接の順番は遠方からの受検者等に配慮して決定する。
- (5) 質問事項 主として次の事項について質問する。
① 本校定時制総合学科への志望の動機・理由について
② 入学後の抱負について
③ 将来卒業後の進路、抱負について
④ 中学校生活について（得意・不得意科目、生徒会活動、部活動等）
⑤ 性格や生活について（長所、趣味、余暇の利用等）

9 選 抜

- (1) 選抜は、調査書、学力検査の成績及び面接の結果を総合し、本校、総合学科の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る資質・能力・適性等を判定して行う。
- (2) 調査書中の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は4：6とする。
- (3) 傾斜配点を行わない。
- (4) 面接の結果は、全受検者について選抜の資料とする。

10 合格発表及び合格通知書の送付

- (1) 合格者の発表は、令和6年3月17日（日）15時にWebへの公開と、本校生徒昇降口において、受検番号により行う。Webアクセスの方法については、受付時に受検票とともに配布する。郵送の場合は、受検票とともに送付する。なお、電話による可否の問い合わせには応じない。
- (2) 「合格通知書」及び関係書類は、入学願書に記載された受検者の現住所に送付する。

11 個人情報の提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、合格発表後郵送により行う。

個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒（簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上親展扱いとし、返信用切手434円分〔郵送料84円及び簡易書留料金350円分〕を貼ったもの）を提出すること。（裏表紙の記入例参考）

12 追 検 査

- (1) 対象者
志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査、面接（以降、本検査という）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。
①インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
②真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。
- (2) 受検の手続
①追検査の受検を希望する者は、次のア～イの連絡等を行う。
ア 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。
イ 上記（1）①の場合、医師の診断書を、上記（1）②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日までに在籍又は出身中学校長に提出する。

② 追検査の受検を希望する者の在籍又は出身中学校長は、次のア～エの連絡・報告を行う。

ア 3月6日（水）までに、追検査の対象者が確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、3月6日（水）15時までに志願先高等学校長へ電話連絡する。

イ ②のア以降、3月7日（木）本検査当日の集合時刻までに、本検査を受検できない志願者が新たに確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、当日できるだけ速やかに志願先高等学校長へ電話連絡する。

ウ ②のア、イに該当する生徒がいる場合、3月8日（金）15時までに、次の（ア）、（イ）の書類を志願先高等学校長あて提出する。なお、やむを得ない事情により期限まで提出できない場合は、提出期限まで志願先高等学校長に電話等で連絡した上で、速やかに提出する。

（ア） 追検査受検願

（イ） 医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類

エ 対象者に対して受検にあたり、新たに特別な配慮が必要になった場合は、速やかにその旨を志願先高等学校長に連絡する。

(3) 追検査の内容及び日時等

①学力検査等及び日時等

内容は上記「7 学力検査」「8 面接」に準ずる。

②検査日時

令和6年3月12日（火）学力検査（時間は本検査に同じ）・面接

③検査会場

本校指定教室

控室及び検査会場等の配置については事前に中学校長に連絡し、当日も案内表示する。

（「7 学力検査」と同様に指定された入口から入校し、職員の誘導により会場まで移動する。）

(4) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

13 その他

(1) 受検会場の下見は実施しない。

(2) 東南置賜地区の県立高校再編整備計画により、令和7年度に米沢工業高校と米沢商業高校を統合して米沢鶴城高校を開校し、本校定時制は令和8年度に昼間定時制に移行します。このため、令和6年度入学生で、令和6年度末の時点で米沢工業高校定時制（夜間）に在籍する生徒は、令和7年度に米沢鶴城高校定時制（夜間）に転学することになります。なお、令和8年度に夜間定時制から昼間定時制に移行し、米沢商業高校の校舎で学習する予定になっています。

II 成人志願者の選抜

1 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 学校生活を大切にし、何事にも前向きに取り組む生徒を募集します。

(2) 基礎・基本を大切にし、他者との関わり合いを通して、学びの質を高めようと努力できる生徒を募集します。

(3) 自己実現への意欲があり、将来の目標に向かって努力できる生徒を募集します。

2 志願資格

中学校を卒業した者、又は学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者で、令和6年4月1日現在で18歳以上の者とする。

3 募集学科、募集人員及び修業年限等

(1) 総合学科 40名（一般入学者選抜による合格者を含む。）

(2) 修業年限は4年を基準とする。

- (3) 授業は令和6年度から令和7年度は夜間（17時から20時55分）、令和8年度以降は昼間（全日制1時間目から4時間目の時間帯）に行う。

4 出願書類及び受付期間

書 類	受 付 期 間	備 考
1 一般入学願書 2 出身中学校の卒業証明書	令和6年2月16日（金）から 2月22日（木）12時まで	① 郵送の場合でも締切日時までに必着とする （郵送の場合は簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入し、返信用切手434円分〔郵送料84円及び簡易書留料金350円分〕を貼った返信用定形長3号封筒を同封する）。 ② 土曜日、日曜日の受付は行わない。

5 出 願 手 続

- (1) 志願者は、一般入学願書に必要な事項を自ら記入し、出身中学校の卒業証明書を添えて本校校長に提出すること。
- (2) 高等学校に在籍のまま志願する者は、一般入学願書に在籍高等学校長の志願承諾書を添付すること。
- (3) 「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、950円の山形県収入証紙を一般入学願書に貼る。ただし、消印はしないこと。

6 入学願書作成上の注意

- (1) 現住所は、正確に記載すること。
- (2) 本人の現住所と異なる場所で「合格通知書」等の受領を希望する者は、入学願書の備考欄に、その場所の郵便番号・住所を記載すること。

7 作 文

- (1) 目 的 本校定時制の課程の教育を受けるに足る資質と能力を確認し、選抜の資料とすることを目的とする。なお、学力検査は行わない。
- (2) 日 時 令和6年3月7日（木）
生徒昇降口開場7時30分、控室入室完了8時5分、受付8時10分～8時20分
作文 8時50分～9時40分
- (3) 場 所 本校指定教室
- (4) 出題方法 ① 題 目 題目は当日指示する。
② 字 数 600字～800字
- (5) 受検者の携帯品等

受検者は、受検票、内履き、検査に必要な下記の筆記用具を持参すること。

鉛筆（シャープペンシルを含む）※1、消しゴム、鉛筆削り

検査会場には、受検票のほか上記の筆記用具を携帯する。なお、鉛筆キャップ（単色透明で無地のもの）、腕時計※2、ティッシュペーパー（中身のみ）の持込みは認める。

※1 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。

※2 計算機能や英単語表示機能、通信機能等付きのもの、音の鳴るもの、秒針音のするものは持込みを認めない。

ただし、次の用具は検査会場に携帯してはならない。

- ① 下敷、筆入れ、シャープペンシル芯入れケース等
- ② 携帯電話・スマートフォン・情報端末等の電子機器類
- ③ その他、検査の公正を欠くおそれのある物

なお、聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。また、連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。

8 面 接

- (1) 目 的 受検者の多様な能力・適性や関心・意欲、努力の成果や活動経験など、様々な観点から受検者の優れた面や長所を選抜の資料とするため実施する。
- (2) 日 時 令和6年3月7日（木）作文終了後に実施する。
- (3) 場 所 本校指定教室
- (4) 方 法 ① 形 態 個人面接
② 時 間 1人15分程度
③ 面接者 2～3名の本校教員が当たる。
- (5) 質問事項 主として次の事項について質問する。
① 本校定時制総合学科への志望の動機・理由について
② 入学後の抱負について
③ 中学校時代の学習状況や特別活動の状況について
④ 中学校卒業後から現在までの生活について
⑤ 性格や生活について（長所、趣味、余暇の利用等）
⑥ 将来卒業後の進路、抱負について

9 選 抜

選抜は、作文及び面接等に基づいて行う。

10 合格発表及び合格通知書の送付

一般入学者選抜と同様に行う。

11 そ の 他

- (1) 受検会場の下見は実施しない。
- (2) 東南置賜地区の県立高校再編整備計画により、令和7年度に米沢工業高校と米沢商業高校を統合して米沢鶴城高校を開校し、本校定時制は令和8年度に昼間定時制に移行します。このため、令和6年度入学生で、令和6年度末の時点で米沢工業高校定時制（夜間）に在籍する生徒は、令和7年度に米沢鶴城高校定時制（夜間）に転学することになります。なお、令和8年度に夜間定時制から昼間定時制に移行し、米沢商業高校の校舎で学習する予定になっています。

Ⅲ 新入生オリエンテーション（Ⅰ 一般・Ⅱ 成人とも）

- (1) 日 時 令和6年3月26日（火） 13:30～16:00
- (2) 場 所 本校4階 LL教室等
- (3) その他 「合格通知書」とともに郵送する関係書類により、日時や持ち物等詳細を連絡する。

資料Ⅰ 入学時及び入学後の所要経費〔定時制〕

以下の金額は令和5年度入学生（総合学科）の実績です。

1 入学時の所要経費

(1) 教育振興会費等	2,000円
(2) 運動着・実習着・内履き代等	16,192円
(3) 教材費・研修費等	24,225円
(4) 教科書代	6,539円
合 計	48,956円

2 入学後の所要経費（5月から11月まで7ヵ月分納、月額平均約20,000円）

(1) 給食費	72,000円
(2) 修学旅行積立金（1年次）	32,000円（3カ年での積み立て）
(3) 諸会費等	22,200円
合 計	126,200円

※ 修学旅行は隔年実施（3・4年次合同）で行っており、令和6年度入学生は、3年次での実施となるため2カ年での積み立て（修学旅行積立金（1年次）は47,500円）になります。

3 補助制度

次の経費は、入学後の就労状況により条件を満たせば、教科書等購入費及び夜食補助金の交付対象者として後日返金されます。ただし、夜食補助金は食事数により変動します。

(1) 教科書代	6,539円
(2) 給食費の一部	約13,500円
合 計	約20,039円

4 授業料（1単位1,620円）

※ 就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。
詳しくは、別添のお知らせをご覧ください。

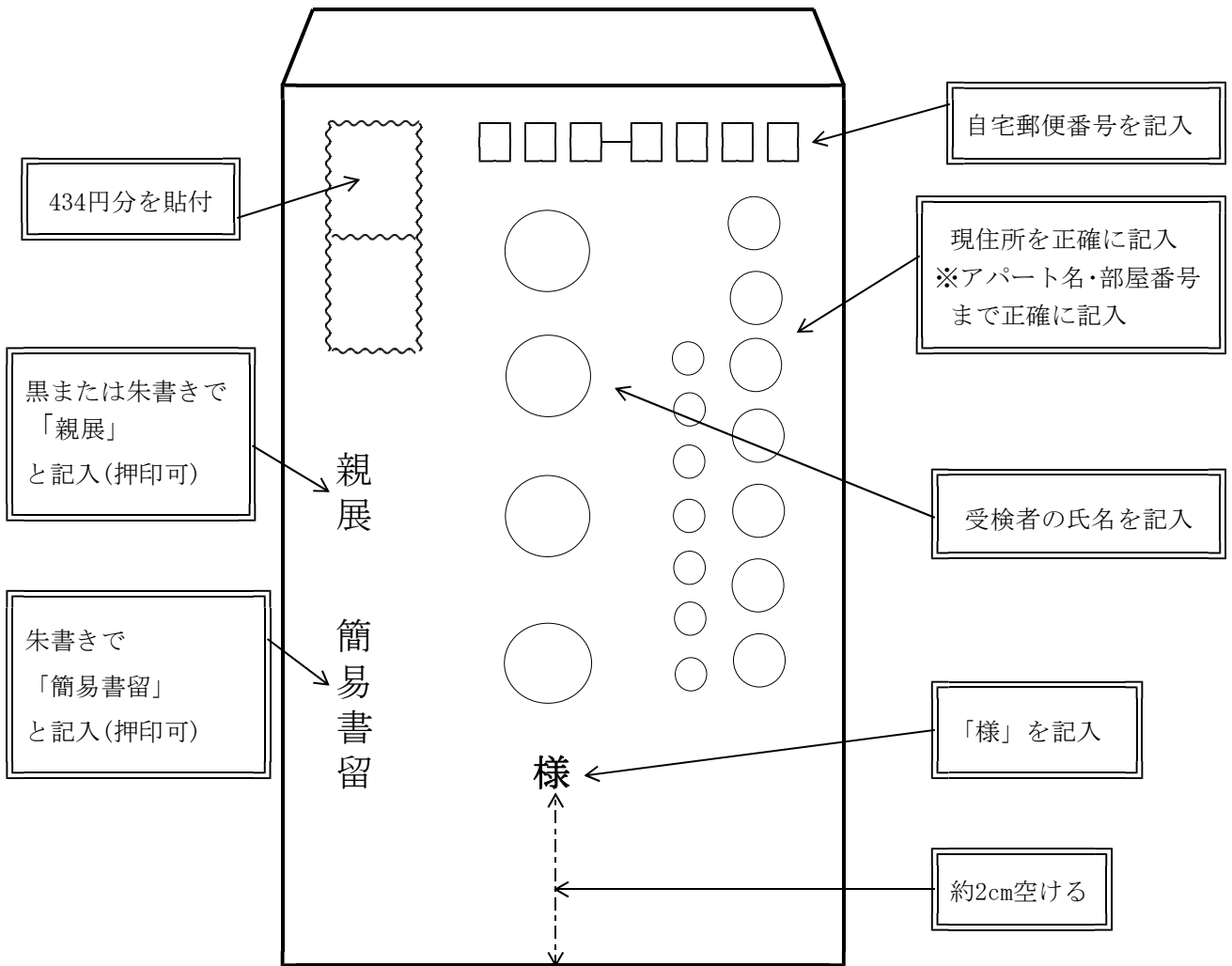
山形県立米沢工業高等学校 定時制の課程 総合学科 教育課程表

	共通履修科目 (必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)				
	1年次	2年次	3年次	4年次	
1	◎現代の国語	◎言語文化	文学国語	国語表現	
2					
3	◎公共	◎地理総合	◎歴史総合	政治・経済	
4					
5	◎数学Ⅰ	◎数学Ⅰ	◎体育	◎体育	
6					
7	◎科学と人間生活	◎物理基礎	総合選択科目	●ICT活用	
8					
9	◎体育	◎体育	総合選択科目	総合選択科目	
10					
11	◎保健	◎保健	自由選択科目A (異年次履修)		
12	◎美術Ⅰ	◎英語コミュニケーションⅠ			
13			自由選択科目B (異年次履修)		
14	◎英語コミュニケーションⅠ	◎家庭基礎			
15			自由選択科目C (異年次履修)		
16	◎情報Ⅰ	工業技術基礎			
17			◎総合的な探究の時間	●卒業研究	
18	●産業社会と人間	ビジネス基礎			
19			ホームルーム活動	ホームルーム活動	ホームルーム活動
各教科・科目及び総合的な探究の時間の単位数	19	19	19	19	
卒業までに修得すべき単位数	74				
特別活動	ホームルーム活動 (週当たり時数)	1 (毎週水曜日4校時)	1 (毎週水曜日4校時)	1 (毎週水曜日4校時)	1 (毎週水曜日4校時)
	生徒会活動 (時間数)	25	25	25	25
	学校行事 (時間数)	55	55	55	55
授業の1単位時間	45分				

		各系列における選択履修科目 (必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)	
		教養系列	産業系列
総合選択科目	3年次	数学A	実習
		●英語活用	
	4年次	●英語探究	実習
自由選択科目 (異年次履修)	選択群A	論理国語 数学B ビジネス・コミュニケーション 製図	
	選択群B	化学基礎 論理・表現Ⅰ 簿記 工業環境技術	
	選択群C	倫理 地学基礎 ビジネス法規 工業管理技術	
備考	<p>・3年次「数学A」「英語活用」を選択した者は、4年次「英語探究」を選択すること。</p> <p>・2～4年次において、合計6単位(各年次3単位まで)の実務代替が履修可能。職場・職種によって「実務実習Ⅰ」「総合実践」として代替する。</p> <p>・自由選択科目(異年次履修)の各選択群の中の科目は、3年次、4年次のどちらかの年次でのみ履修が可能である。</p> <p>【学校設定科目の開設年度】</p> <p>「産業社会と人間」 令和5年度 「英語活用」 令和4年度 「英語探究」 令和5年度 「ICT活用」 令和5年度 「卒業研究」 令和5年度 「実務実習Ⅰ」 平成26年度</p>		

(全日制・定時制共通)

「個人情報(学力検査の教科別得点)の提供」返信用封筒の書き方(例)



定形長3号封筒

※封筒の裏面には何も記入しないで下さい。

